

新型コロナワクチン接種事業

～ 国からのワクチン供給計画を受けた 当面の緊急措置と今後の対応方針 ～

1 65歳以上の高齢者の接種状況

全国を上回る接種率で順調に進んでいます！

○ 京都市内の接種回数【7月5日VRS(ワクチン接種記録システム)情報】

1回目 282, 356回(71. 44%)(全国平均:67. 62%)

2回目 175, 861回(44. 50%)(全国平均:35. 86%)

直近2週間(6/22~7/5)
65歳以上の感染者数/全体の感染者
=10人/146人 =6.8%

京都市の65歳以上の人ロ(令和2年10月)
28.2%

⇒ 高齢者の感染は明らかに減少

○ 高齢者施設での接種状況

高齢者施設504施設中487施設(約97%)で接種済または実施中

○ 集団接種を希望された方への御案内の状況(7月5日時点)

- ・ 総登録数 : 64, 527人
- ・ 重複している方を除く実登録数 : 50, 544人
- ・ 御案内数 : 50, 004人

約99%の方が予約完了または登録辞退を確認

(予約完了:35, 025人, 他で予約のため辞退等:14, 979人)

○ 高齢者へのきめ細やかな周知

高齢者の接種が進むことで重症化する方が減少！

民生委員、老人福祉員等の顔の見える地域ネットワークを活かした更なる周知を実施

2 基礎疾患を有する方の接種前倒しとエッセンシャルワーカーの接種実施

高齢者の接種が順調に進んでおり、前倒して6月16日から、
身近な医療機関で基礎疾患を有する方の個別接種を開始

＜基礎疾患を有する方の登録期間（集団接種）＞

6月28日（月）～6月30日（水）[第1期]

7月1日（木）～7月4日（日）[第2期]

また、エッセンシャルワーカーとして、保育職員や教職員、
介護サービス従事者に加え、公共交通機関（バス、タクシー）や
ごみ収集業務の従事者等の接種を実施
(約14,500人に接種) [7月2日時点]

3 ワクチン供給状況 ①

- 本市の接種体制の拡充、加速化に、国からのワクチン供給が当面対応できず、更に接種を進めていくために必要な量を確保できない状況
- 国に対して、必要な量の供給を強く要望

<今後のワクチン供給状況>

- ・ 7月10日頃 125, 190回分(62, 595回／週)
- ・ 7月24日頃 93, 600回分(46, 800回／週)

(参考)これまでのワクチン配送状況

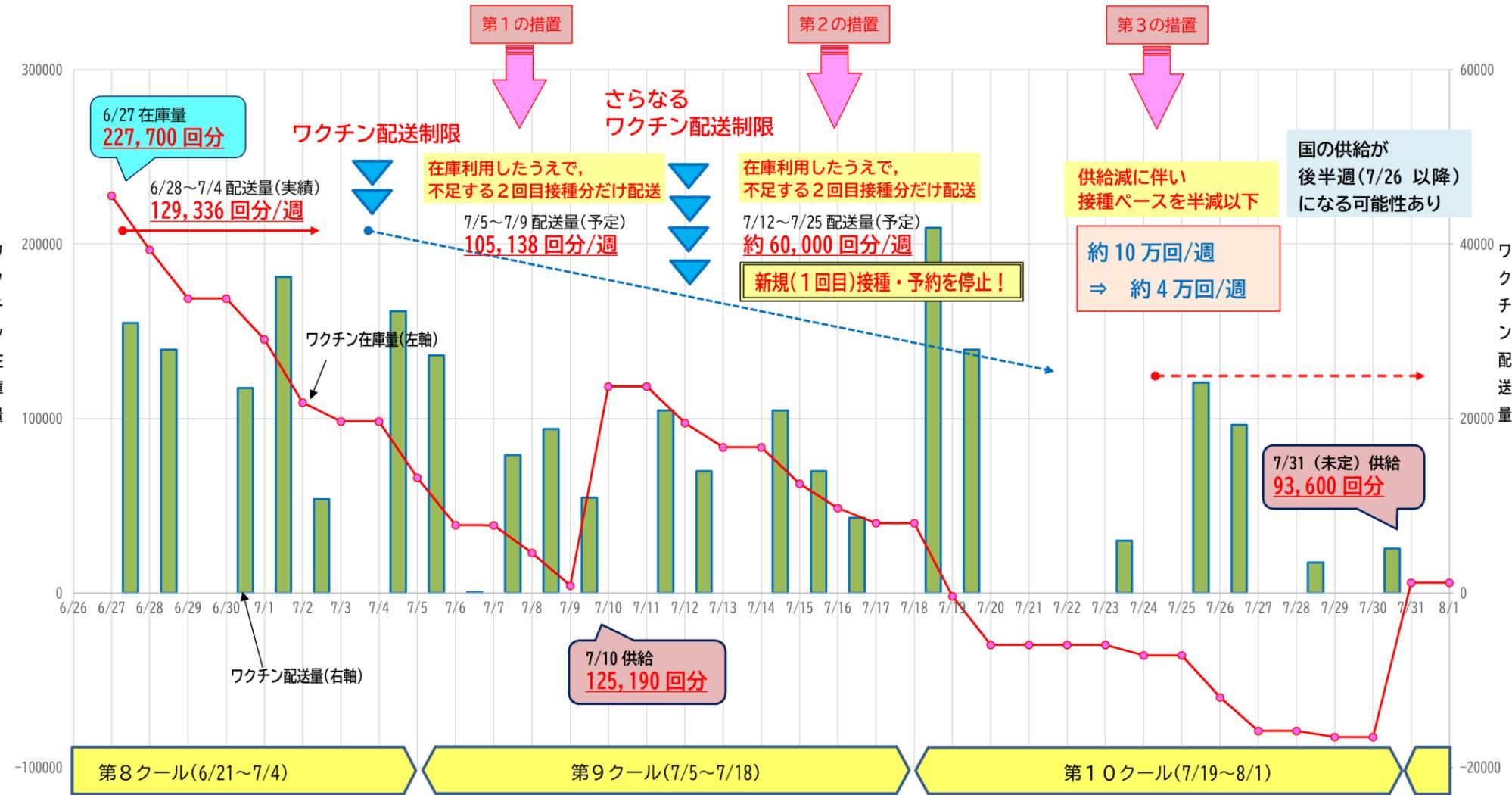
週	配送数
6月 7日の週	96, 894回
6月 14日の週	115, 194回
6月 21日の週	109, 452回
6月 28日の週	129, 336回

⇒ 7月以降は半分以下にペースダウン

4 ワクチン供給状況 ②

ファイザー社製ワクチンの在庫見込み

令和3年7月5日



5 当面の緊急措置①

<全体>

<7/3(土)発表済>

高齢者接種、2回目接種を確実に行うため、
7月12日(月)から7月31日(土)まで、全ての医療機関(個別接種)、
集団接種会場で、新規(1回目)接種を停止(予約も停止)

<個別接種>

医療機関によるワクチン発注上限の変更

7月5日の週 週20バイアル(120回分)



(参考)

週	上限
6月 7日の週	週50バイアル(300回分)
6月 14日の週	週50バイアル(300回分)
6月 21日の週	週70バイアル(420回分)
6月 28日の週	週70バイアル(420回分)

7月12日の週から7月26日の週までの3週間

医療機関からの発注上限を「週10バイアル(60回分)」に

優先して必ず確保します！

※ 在庫を使っても2回目接種分が不足する場合は、京都市に相談を

6 当面の緊急措置②<集団接種会場>

国に対し強く要望しているが、ワクチンが供給されないため、以下の措置を実施

○ 土・日の区・支所ごとの14会場

7月25日(日)までは、2回目接種のみ

7月31日(土), 8月1日(日)は、接種中止

○ 平日のイオンモールKYOTO・西陣織会館

7月20日(火)までは、2回目接種のみ

7月21日(水)から30日(金)までの間は、接種中止

○ 京都工場保健会・京都予防医学センター

7月は、2回目接種のみ

○ KBSホール(7/13～), 国立京都国際会館(7/17～), 京都看護大学(7/17～)

8月以降に開始時期を延期

7 当面の緊急措置③<集団接種の希望登録>

○ 集団接種の希望登録受付

6月28日から開始。登録受付は継続

高齢者・基礎疾患を有する方の接種を進めるため、

7月12日の週から、エッセンシャルワーカー(早期接種対象者)の接種会場である「みやこめっせ」に、約3千人を案内・接種

8月以降、本格的に案内・接種

モデルナ社製を使用



<集団接種を希望登録された方の登録状況(7月5日時点)>

- ・ 基礎疾患を有する方

希望登録者：12,071人(1日平均約1,500人(6月28日から7月5日まで))

〔第1期・第2期登録者数：11,393人
(6月28日から7月4日まで)〕

- ・ それ以外の方

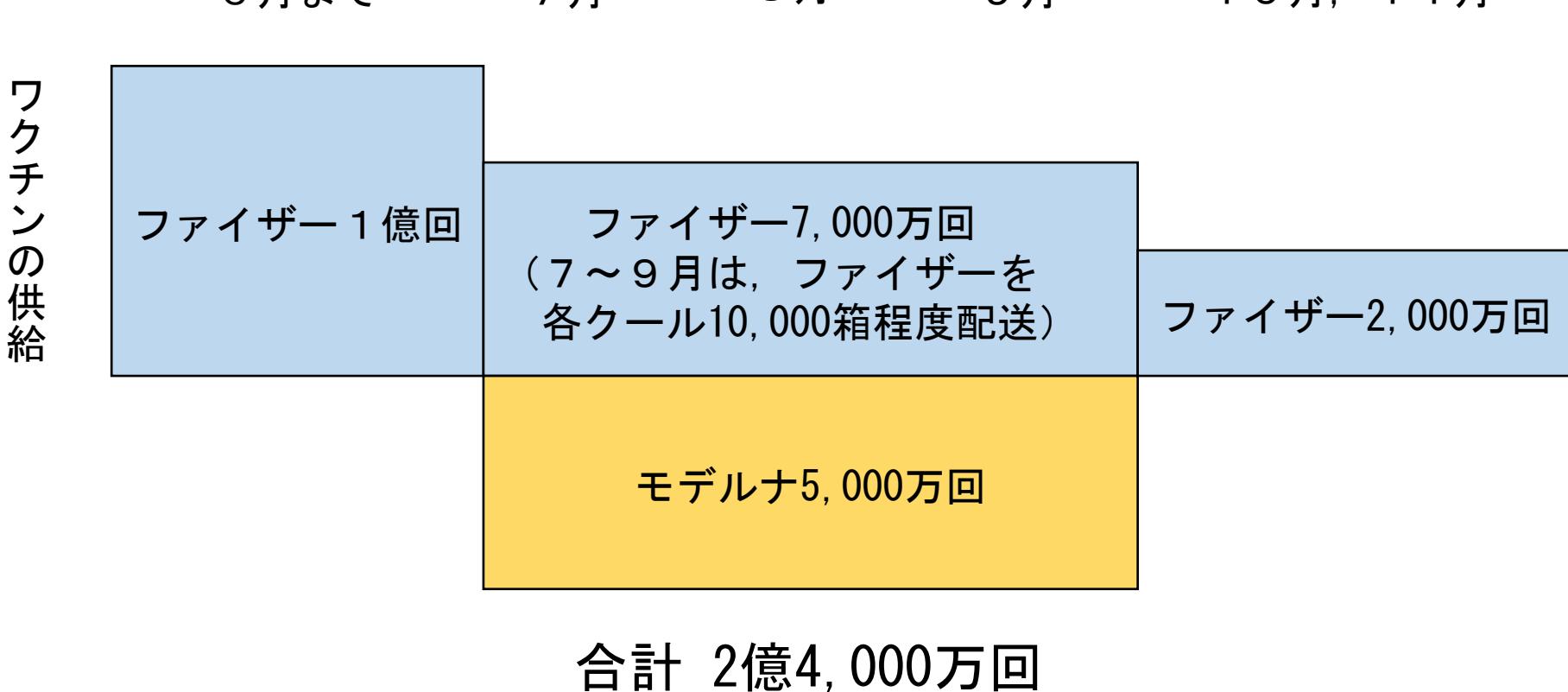
登録者数：30,391人(1日平均約3,800人(6月28日から7月5日まで))

8 8月以降のワクチンの供給見込み①

<国の供給計画>

令和3年7月2日

全 体 像



→ 全ての人に2回接種するだけのワクチンを確保

9 8月以降のワクチンの供給見込み②

<ファイザー社製のワクチンの供給>

[8月以降の配分]

各クール(2週間ごとに)10,000箱程度を配送予定

うち、8,000箱(936万回分)程度は、人口規模に応じて各市町村に割当

2,000箱(234万回分)程度は、在庫率や直近の接種実績に応じて割当

[第10クール(7月19日と26日の週)の配分]

10,600箱を配分

うち、8,000箱(936万回分)は、64歳以下の人口に応じて配分

2,600箱(304万回分)は、次のとおり配分

- ・「自治体の大規模接種」申請案件(モデルナ社製で保留中)で、7月最終週までの必要量
- ・在庫率の低い上位200番程度の自治体



京都市への基本配分枠

2週間で、約80箱(93,600回分)

⇒ 国からの供給量に応じた接種体制を構築

更に国に対し必要な量の供給を強く求める

10 8月以降の接種体制

○ 個別接種 約4万回/週

(参考値)

$$900\text{医療機関} \times 7\text{バイアル(42回分)} / \text{週} = 37,800\text{回}$$

これまで、国の方針に基づき、医療機関の希望数を配達
8月以降は、本市からの割当数の範囲内で接種を予約



○ 集団接種 約1万回/週



1.1 今後の集団接種会場

○ 区・支所ごとの14会場 [土・日]

- ・ 8月から接種を再開
- ・ 再開に当たっては、会場の統合、実施時間の変更等を検討

○ イオンモールKYOTO [平日]

- ・ 8月から接種を再開
- ・ 64歳以下の方の接種に合わせ、夜間実施を検討

○ KBSホール [平日], 国立京都国際会館 [土・日], 京都看護大学 [土・日]

- ・ 施設や関係団体と実施日程を調整のうえ、8月以降接種開始

○ 集団接種の希望登録(基礎疾患有する方, 64歳以下の方)

- ・ 登録受付を継続
- ・ 基礎疾患有する方から、順次、上記の集団接種会場等の案内

1.2 今後の接種見込み ①

○ 集団接種の希望登録者

(7月5日時点)

- ・ 基礎疾患有する方 : 12,071人
- ・ それ以外の方 : 30,391人

⇒ 9月中旬までに接種予約を御案内できる見込み

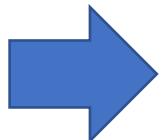
- ※ 接種日の概ね1週間前にコールセンターから順次、接種日時、場所等を御案内
- ※ 京都府医師会の「京あんしん予約システム(個別接種医療機関予約システム)」との連携により、市民の皆様の予約・接種を円滑に

13 今後の接種見込み ②

<64歳以下の方の接種(見込み)>

- ・ 65歳以上の高齢者 約41万人 [接種回数(見込み)]約61. 5万回(41万人×2回×75%)
- ・ 64歳から12歳の方 約87万人 [接種回数(見込み)]約121. 8万回(87万人×2回×70%)

これまでの接種回数 約65万回分(7月2日までのワクチン配送数)



$$61.5\text{万回} + 121.8\text{万回} - 65\text{万回} = 118.3\text{万回}$$

○ 職域接種による接種見込み

全国で3,700万回分(1,850万人)の申請
(モデルナ社製ワクチンは、国で5,000万回分を確保)
⇒ 京都市の人口比では、約37万回(推定)分(約18.5万人)

更に職域接種を見込むと、118.3万回 - 37万回 = 81.3万回



週5万回以上接種と、職域接種(企業・大学等での接種)と併せて
10月末(17週)までに完了予定

14 VRS（ワクチン接種記録システム）の登録促進

- ワクチンの円滑な接種を支援するVRSの登録を促進
 - ・ 7月5日までに11医療機関、8,314回分の入力を支援
 - ・ 今後、更に12医療機関の入力支援を実施

個別の医療機関のVRS登録実績、V-SYS(厚生労働省のシステム)接種実績データ(接種券のない方の接種実績等)、本市で把握する医療機関からのワクチン発注実績を突合することで、VRSの登録が進んでいない医療機関を把握。効果的な入力支援等につなげていく。

※ 接種会場（医療機関）ごとの接種数（累計）データを、自治体が確認することが可能に（本日、国システムの行政メニューでお知らせ）。

